

UACJ (Thailand) 社長方針書



2026 (令和8年度)

UACJ企業理念

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

作成 2026年 01月 30 日

UATH 社長 山田 哲也

区分	内容
ミ ッ シ ョ ン 指 針	◆ 企業理念の下、グローバルに戦える新たな技術の追求とモノづくりの力の伝承により、「タイのメンバーが誇りに思える企業」の実現を目指す ◆ 共通の目標・価値観の下、自ら考え、自ら行動し、自らを律する人々の集団を目指す ◆ 軽やかな世界の実現を目指し、果敢に挑戦する
基 本 方 針 ／ 重 点 課 題	<2026年度の基本方針> 第4次中期経営計画の目標達成に向けた行動と、事業環境変化を踏まえ、VISION2030へつながる成長・価値創出拡大を推進する。 『UACJ板事業におけるASEAN地域の基幹工場』として、全社収益に貢献する - 需要変化に対応できる生産体制を、製造・営業・調達並びに三極（日本、UATH、TAA）の連携で確立する - タイ国におけるアルミニウムの循環型社会構築に向けた役割を果たす（特に静脈側機能の強化） <2026年度の重点課題> <u>I. 安全・コンプライアンス・品質など、UACJとしての当たり前の実践と深化</u> 「安全」が全てに優先することを改めて肝に銘じ、重篤災害につながる6大災害^{※1}（+火傷）の撲滅に向けたハード・ソフト両輪の活動推進（ルールを守り安全を最優先する文化の確立、重篤災害ゼロ化） - 設備本質安全化計画の着実な実行 - 規律正しい組織を目指したチームビルディング - 法規、製品仕様などお客様との取り決め、社内の規則・行動規範等の遵守（コンプライアンス事案削減） - お客様の満足と信頼を得る製品・サービスを目指した継続的な取り組み - UACJ ウェイ実践の深化 ※1 巻き込まれ、動力装置による挟まれ、感電、墜落、酸欠、特化物による災害 <u>II. VISION2030へつながる成長・価値創出拡大と体質強化に向けた取り組みの着実な推進</u> - リサイクル原料の安定確保の実現（コスト抑制含む）と、それを最大限に使いこなす技術の確立 - 顧客や、顧客の顧客が目指す姿の実現に向けた積極的な提案、協業で「素材+α」を具現化する環境配慮型合金の提案、PIR・PCRの仕組構築等で、社会や顧客ニーズに応え、適正な価値を享受する - 価値に見合った値決めの実行（限界利益の適正化、コストUP+αの獲得、不採算明細の撲滅） - タイー日本の生産互換性強化（UATHの生産品種拡大）による需要変化への対応力・BCP体制強化 - 年間生産能力34万ton→36万ton体制に向けた生産能力・品質の向上、故障低減活動の推進 - 生産現場の自動化・無人化の取り組み等による安全性・生産性の向上、製造コスト低減 - タイメンバー主体の会社運営を目指した個人の育成とチームビルディング → 生産性の向上 - マテリアリティを中心としたサステナビリティ関連目標の達成に向けた活動の推進 <u>III. 第4次中期経営計画および2026年度計画の目標達成に向けた活動</u> 2026年度事業利益計画の必達（年間：7.8億THB以上、年度末ROIC：2.2%以上） - 年計販売量超え（年間34万t）達成とRM損益確保・改善（年間RM損益：112.8億THB以上） - 生産性・歩留の改善（年度末目標：185kg/M・Hr以上、64.7%以上） - 棚卸資産削減等によるキャッシュ創出〈C1000〉（期末運転資本計画値に対し13.6億THB以上削減） - 損益管理、予算管理の精度向上 → 追加施策の早期立案・実行につなげる <u>IV. UACJピープルステートメントの浸透とウェルビーイング向上に向けた施策推進</u> 「働く環境づくり」：安全・安心で健康的な働きやすい職場環境づくり 「人づくり」：ULEAD推進による次世代リーダーの育成 「組織づくり」：RUAM THAI、ULEAD、U-KI等の取り組みを通じた、チームビルディング - 地域社会への貢献を通じて、地域社会との信頼関係を更に強化し、持続的な発展につなげる